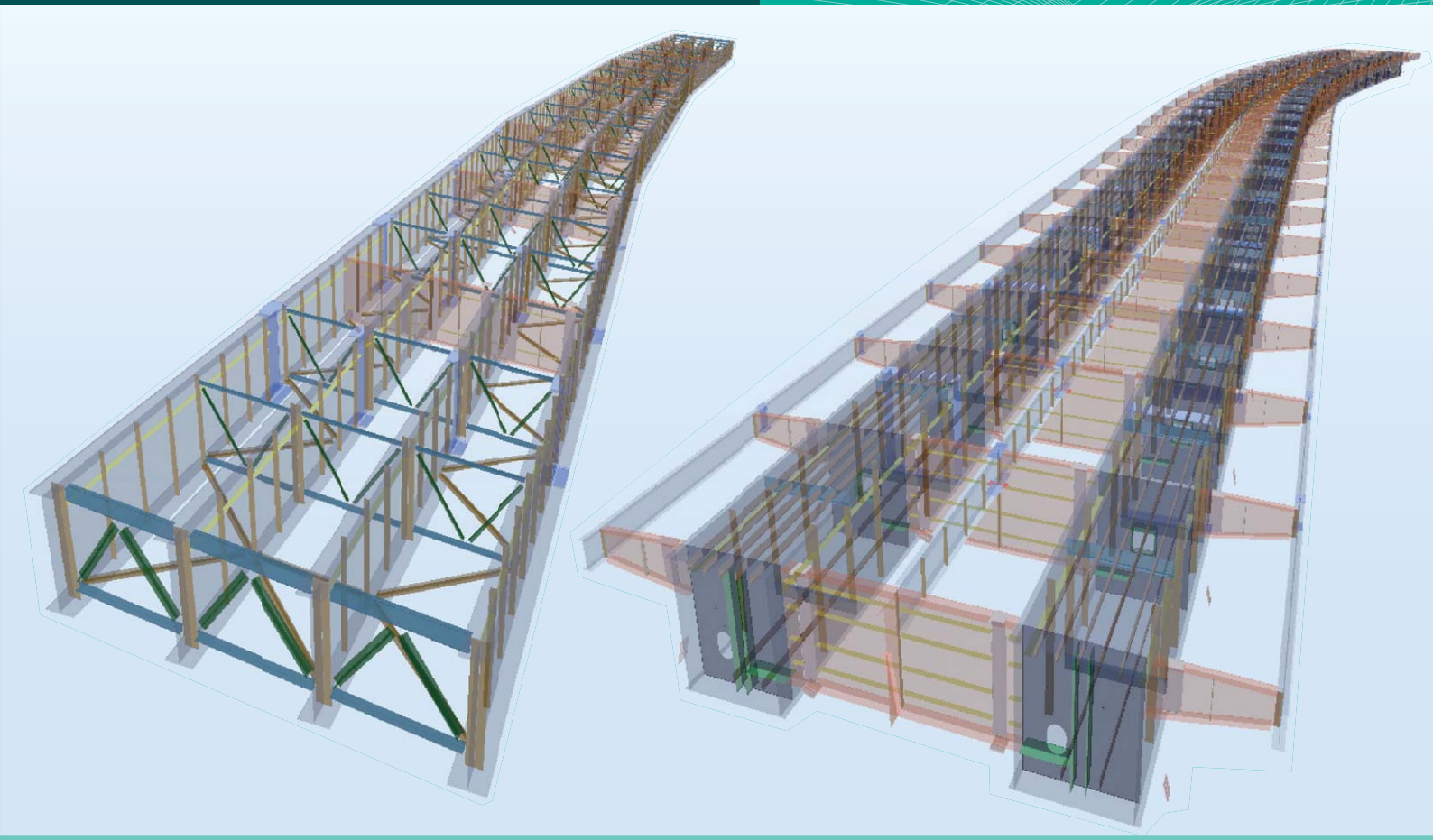
YTI

APOLLO

APOLLO

鋼橋設計システム



鋼橋を対象とした線形・解析・設計・製図・材料の一貫システム

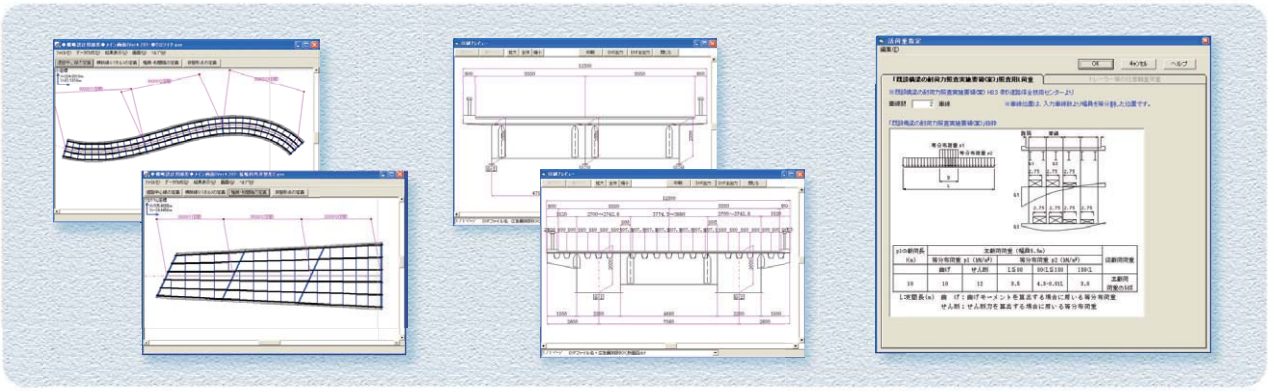
長年にわたる膨大な数の鋼橋設計の実績の元に開発されたシステムです。新設橋の予備設計から詳細設計、
既設橋の復元設計から補強設計まで適用可能です。建設コンサルタントや橋梁メーカーなど多くの導入実績を誇ります。

株式会社 横河技術情報

概略設計システム (SuperPlanner)

APOLLO

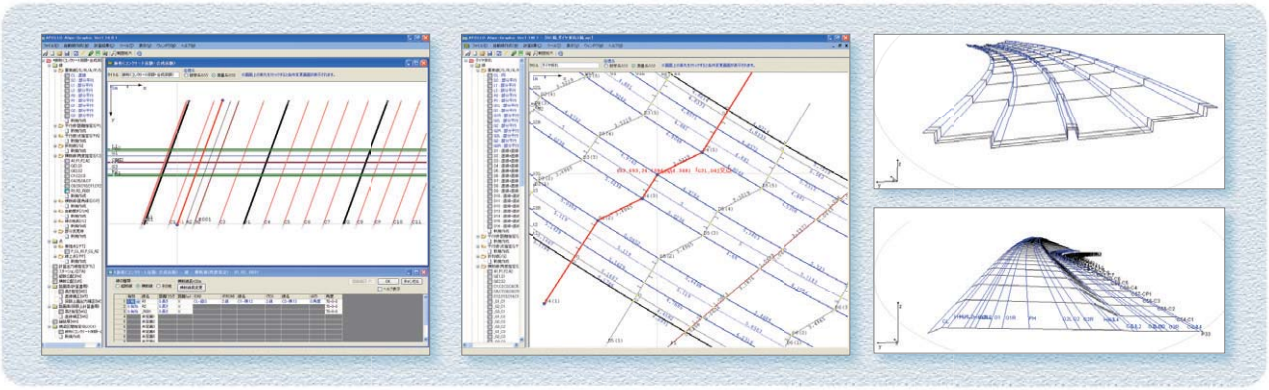
鋼桁橋の全構造形式（非合成鈑桁・箱桁、合成鈑桁・箱桁、鋼床版鈑桁・箱桁、開断面箱桁、細幅箱桁）をオールインワンパッケージにしました。簡単な骨組み形状から拡幅、非整形、枝桁など主桁本数が変化する複雑な骨組み形状まで、容易に作成可能です。新設橋梁の構造形式比較選定や既設橋梁の復元設計（既設橋梁の耐荷力照査）として利用可能です。



線形計算システム (Align-Graphic)

APOLLO

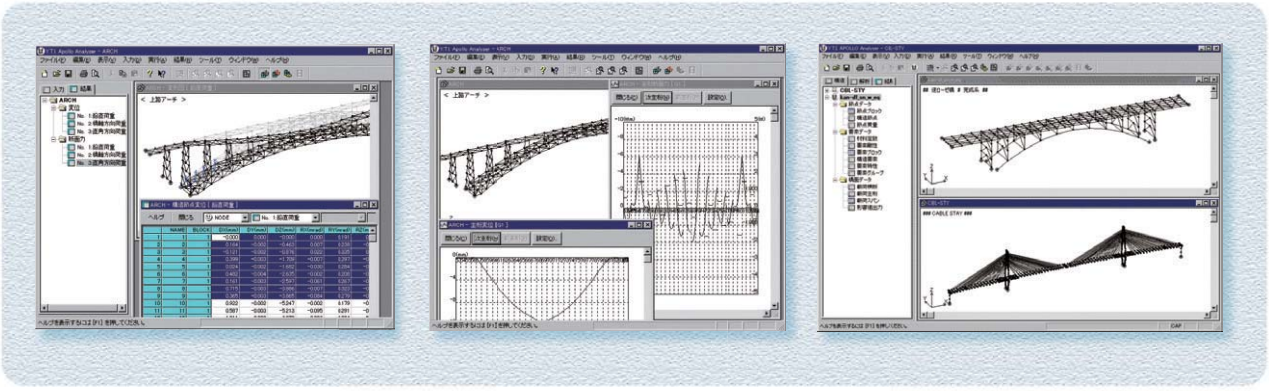
ウィザード機能により簡単にデータが作成できます。合成床版、鋼床版横リブ、箱桁ダイヤフラムの折れ横断などの専用機能により効率化が図れます。線毎に画面表示のON・OFF、色、太さを指定でき、表示させたい線を絞っての確認が行えます。格点座標（XYZ）や格間長を画面に表示する事や3次元ビューによりデータ入力の視覚的な確認が行えます。他社の線形データとの変換機能もあります。



構造解析システム (Analyzer)

APOLLO

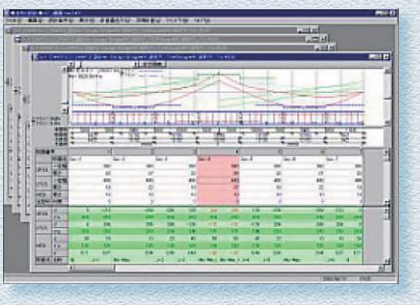
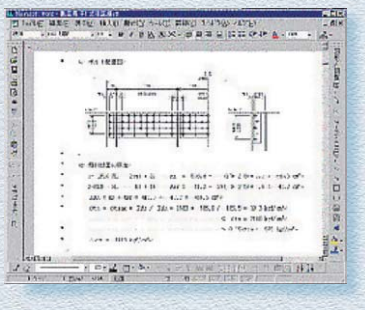
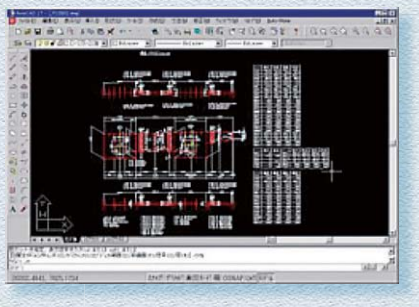
立体骨組みモデルに対応した構造解析システムで、固定載荷計算（節点荷重、部材荷重、温度荷重、支点強制変位）、影響線載荷計算（面分布荷重、道路橋示方書L荷重・T荷重）、固有値解析、さらに有限変位解析、線形動的応答解析をサポートしています。複数の解析結果から必要な荷重ケースを指定し、組み合わせを行うこともできます。



自動設計製図システム (SuperDesigner / SuperDrawing)

APOLLO

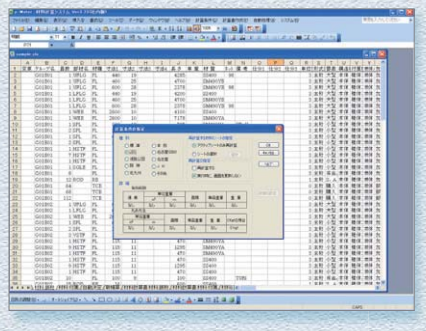
平成24年 道路橋示方書に対応し非合成鈑桁・箱桁、連続合成鈑桁・箱桁（開断面・閉断面）、鋼床版鈑桁・箱桁の設計製図が可能です。豊富な挿図で分かりやすい計算書はMS-Wordで読み書きできるRTF形式で出力しますので後編集も可能です。図面はCAD製図基準に準拠しDWGデータとして出力します。

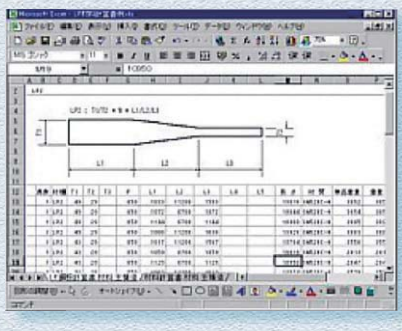




材料計算システム (y-Mater)

APOLLO

MS-Excelにアドインし重量計算や塗装計算および工数算定用集計を行います。工数算定基準は「鋼道路橋工数算定要素集計マニュアル」に対応しています。自動設計製図システム（SuperDesigner / SuperDrawing）と連動し自動的に材料データを作成します。弊社のCA*（鉄構CAMシステム）用の板取りや形鋼部材ファイルに出力する事も可能です。他社の材料データとの変換機能もあります。

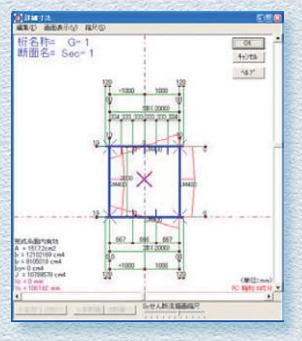
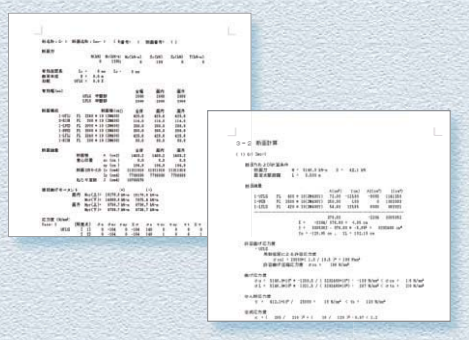
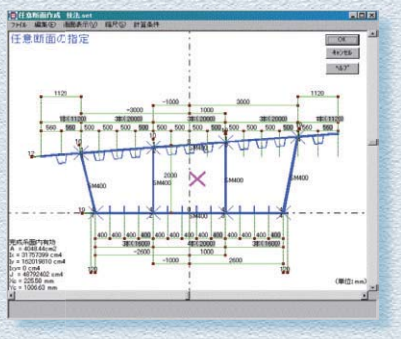




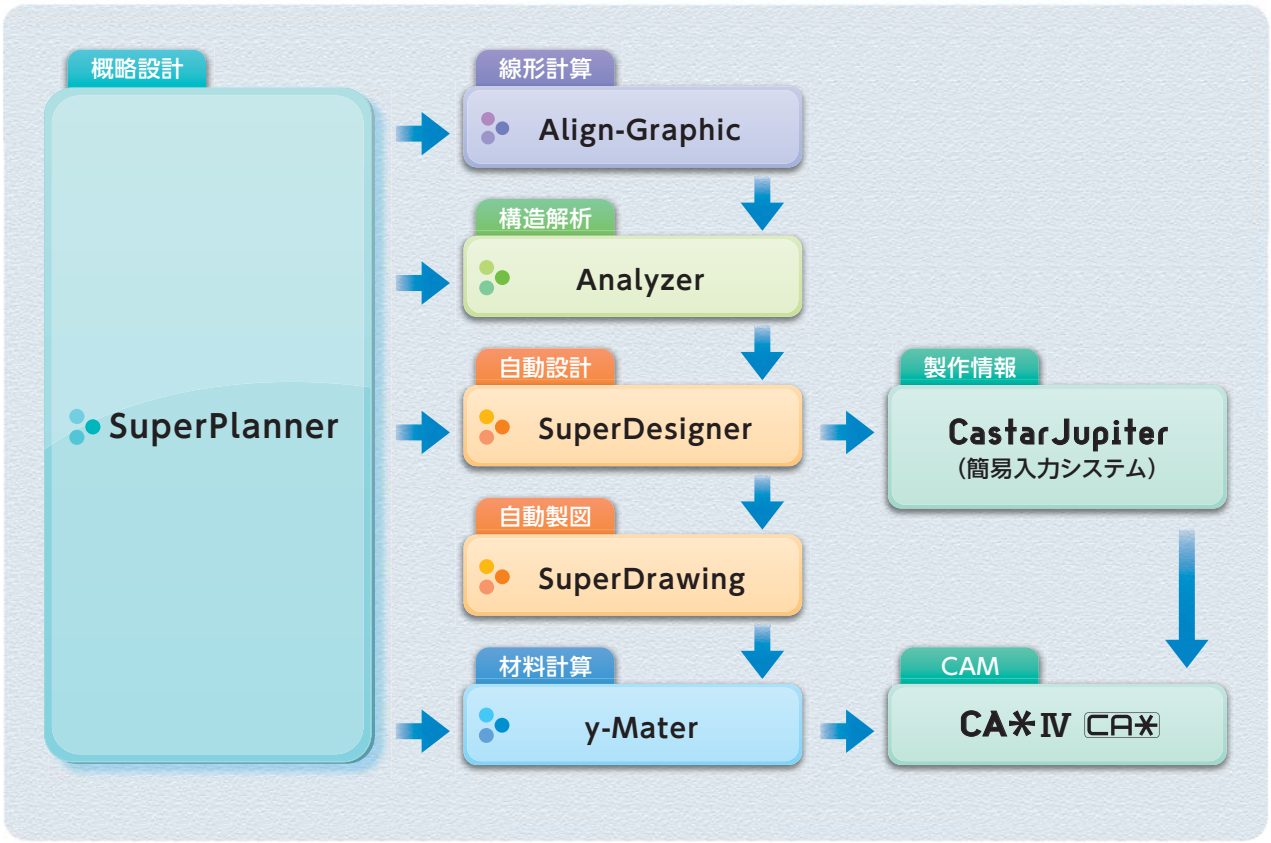
断面計算システム (Section)

APOLLO

平成24年 道路橋示方書の「局部座屈を考慮しない許容軸方向圧縮応力度」および「軸方向力と曲げモーメントを受ける部材」に対応しております。断面形状を確認しながら寸法を入力すると、瞬時に断面形状の更新および剛度等が計算されます。計算書はMS-Wordで読み書きできるRTF形式で出力しますので後編集も可能です。多室構造など任意形状（オプション）の断面計算も可能です。

» 各種システムのデータ連動



■ 動作環境

種類	ソフトウェア名
ＯＳ	Windows8.1/10(32bit/64bit) ・MeBiCLink/APOLLO In (CIMモデル作成)は64bit版のOSが必須 ・Windows10の32bit版は一部のヘルプ表示機能が未対応
アプリケーション	MS-Office2013/2016/2019(32bit/64bit)　※Office365は動作保証外 DWG(2004形式)、DXFが編集可能なCADソフト(AutoCADなど) SketchUp Pro:CIMモデル作成(MeBiCLink/APOLLO In実行)には必須

ソフトウェアのバージョンはお問い合わせください。

●Windowsは米国MicrosoftCorporationの米国およびその他の国における登録商標です。
●その他、記載の社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
●本製品の仕様および価格、関連資料その他は、予告なく変更することがあります。

株式会社 横河技術情報

［お問い合わせ先］
〒108-0023　東京都港区芝浦4-4-44　横河ビル
TEL：03-5442-1703　FAX：03-5442-1704
http://www.yti.co.jp/